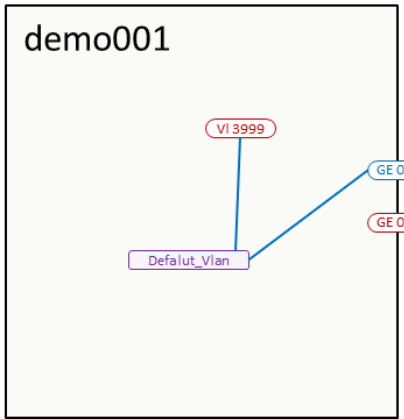
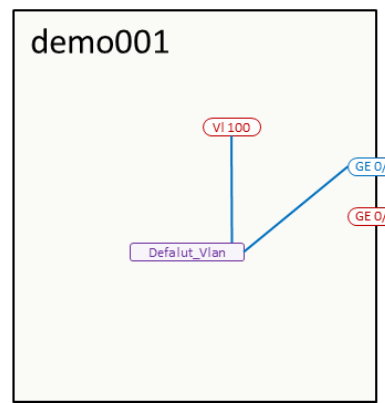


本手順でできること

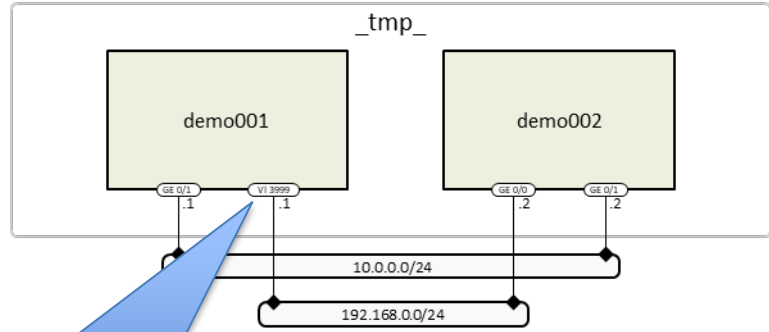
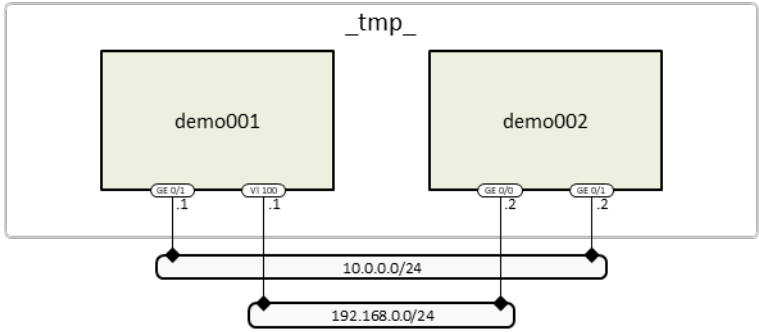
デバイスファイルの[L2 Table]シートを使用して仮想インタフェース名を変更します。

L2構成図



- XX x/x ... L2モードのインタフェース
- XX x/x ... L3モードのインタフェース
- XXXX ... L2セグメント

L3構成図



仮想インタフェースのタイプがL3の場合は、L3構成図のインターフェース名も合わせて更新されます

①機器ポート管理表の生成

「[2-4. デバイスファイルのエクスポート\(解説付き\)](#)」を参考にデバイスファイルのエクスポートします。

② [L2 Table]シートの更新 仮想インタフェース名の変更

デバイスファイル [L2 Table]シートの名前を変更したい「Virtual Port Name」列の項目を [Alt]+[Enter]キーで改行し、新しい仮想インタフェース名を入力します。

改行し、新しい仮想インタフェース名を入力

Device Name	Port Mode	Port Name	Virtual Port Mode	Virtual Port Name	Comment
demo001			Routed (L3)	Vlan 100 Vlan 3999	
	Switch (L2)	GigabitEthernet 0/0			Defalut_Vlan
	Routed (L3)	GigabitEthernet 0/1			Defalut_Vlan

※変更箇所を赤字で記載していますが、色は関係ありません。

「Virtual Port Name」の命名規則は物理インタフェースと同じく以下となります。

ポート種別名とポート番号の間に半角スペースを入れてください

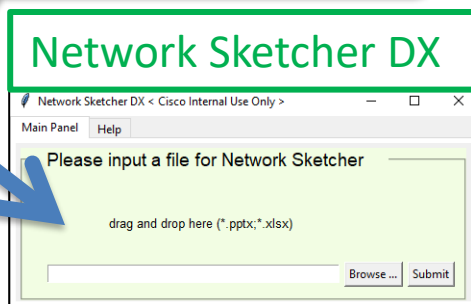
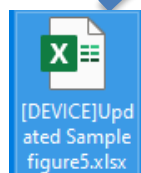
[ポート種別名] + [半角スペース] + [ポート番号]

Portchannel 0/4

③更新情報の同期

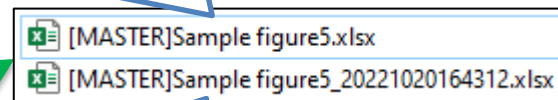
更新したデバイスファイルと、同期先のマスタデータファイルをそれぞれ選択し、同期させます。マスタデータが更新されるため、元のマスタデータはファイル名に”_yyyymmddhhss”を付けてバックアップされます。

①更新したデバイスファイルをMain Panelにドラッグアンドドロップする。

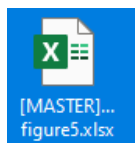


OUTPUT

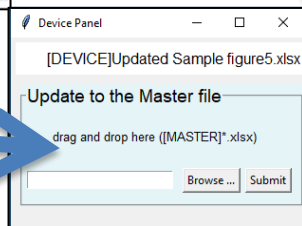
マスタファイルが更新される



更新前のマスタファイルがバックアップされる



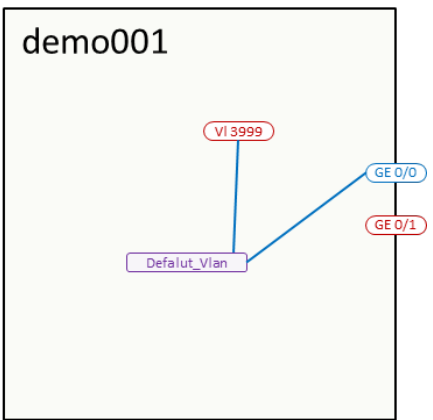
②をDevice Panelが表示される。更新対象のマスタファイルを[Update to the Master file]にドラッグアンドドロップする。



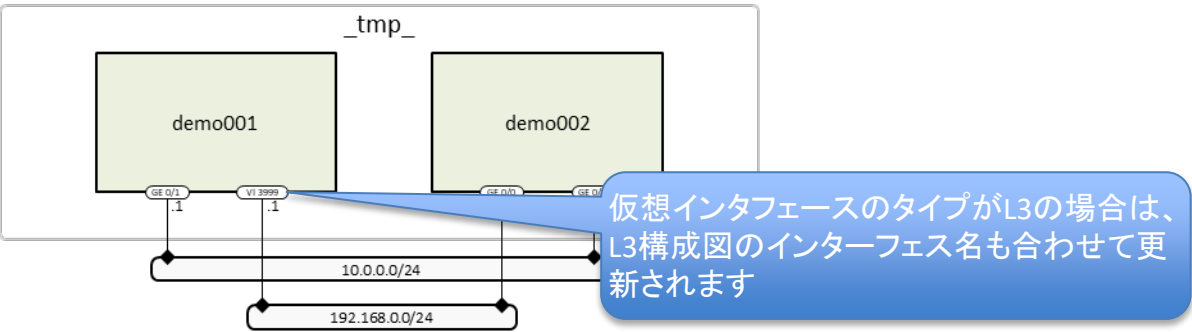
④L2L3構成図の確認

「[2-2. L2構成図の生成\(凡例付き\)](#)」「[2-3. L3構成図の生成](#)」を参考に、L2L3構成図を生成して変更内容が反映されていることを確認ください。

L2構成図: 生成例



L3構成図: 生成例



XX x/x

...

L2モードのインターフェース

XX x/x

...

L3モードのインターフェース

XXXX

...

L2セグメント

[参考資料]デバイスファイル [L2 Table]シートの解説

デバイスファイル名[DEVICE]~の[L2 Table]シートの説明。目的のレイヤ2構成方法については、<L2/L3構成>セクションを参照ください。

Area(拠点)名

機器名

物理ポートのモード

物理ポート名

仮想ポートのモード

仮想ポート名

接続するL2セグメント名

サブインタフェースが接続するL2セグメント名
(L3仮想ポートがL2モードの物理ポートと直接接続する場合のみに使用されます)

Area	Device Name	Port Mode	Port Name	Virtual Port Mode	Virtual Port Name	Connected L2 Segment Name	L2 Name directly received by L3 Virtual Port
DC-TOP1	FW-12~1~			Routed (L3)	Vlan 1	DefaultVlan	
				Routed (L3)	Vlan 1300	vlan1300	
				Routed (L3)	Vlan 1400	vlan1400	
				Routed (L3)	Vlan 1401	vlan1401	
				Routed (L3)	Vlan 1500	vlan1500	
				Routed (L3)	Vlan 1501	vlan1501	
		Switch (L2)	GigabitEthernet 0/1	Switch (L2)	Portchannel 0	DefaultVlan	
		Switch (L2)	GigabitEthernet 0/2	Switch (L2)	Portchannel 1	Vlan200	
		Switch (L2)	GigabitEthernet 0/5	Switch (L2)	Portchannel 1	Vlan200	
		Switch (L2)	GigabitEthernet 0/6	Switch (L2)	Portchannel 0	DefaultVlan	
		Switch (L2)	GigabitEthernet 0/12			vlan1300,vlan1400	
		Switch (L2)	GigabitEthernet 0/13	Routed (L3)	GigabitEthernet 0/13.99		

L1 Table

L2 Table

L3 Table